

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 4-6(202)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和4年7月15日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

家庭科・調理の支援

照島小学校では、6月30日(木)に6年生が家庭科で調理実習をしました。37名が6グループに分かれて「三色野菜いため」と「スクランブルエッグ」の調理をしました。

よりきめ細やかに対応できるようにと学校応援団に支援の要請があり、食生活改善推進員(4名)、女性部(1名)と保護者(1名)の方々6名の参加でグループに1人ずつついてくださいました。調理に関するいろいろなことをアドバイスしながら調理が進められました。

最初に時間がかかる野菜いためから始めました。三色にあたる野菜として、(ニンジン)(ピーマン)(キャベツ)の3種を使いました。まず洗って、「①硬さのあるニンジンの皮をむき、輪切り、縦に切ってそれをせん切りにする。②ピーマンは、半分に切って種を出し、せん切りにする。③キャベツは、幅4cmぐらいで切るか、手で切り裂く。」の作業をします。いためるまでに児童は洗う係、皮むき、せん切りなど手分けして、みんなで取りかかっていました。支援者の方々も包丁の使い方、せん切りでのニンジンの置き方など手を添えてくださって、作業が手際よくいくように手伝ってもらいました。

スクランブルエッグは、一人分ずつ焼くグループと全員の分焼いて分けるグループと取り組みが異なりましたが、児童は、その場その場で精いっぱい取り組んでいました。

盛り付けも各グループで工夫しながら、支援の方に聞きながら同じように皿に盛っていました。暑い中、マスクを着けて頑張っていました。

「自分たちで料理したものだから、おいしく食べられるでしょう。」と言われて試食に入りました。試食後は、支援の方々が、片づけを要領よくする方法など教えてくださり、みんなで取りかかって済ませ終了になりました。



まな板を洗ってきれいにして



ニンジンの千切りはこうして～



スクランブルエッグを頑張って



盛り付けもしっかりできた～



美味しそうに盛りつけた料理

託児の支援

市来小学校では、1 学期末の学級PTAと水泳大会が行われたので、その間の託児が実施されました。7月5日(火)に5, 6年生、6日(水)に3, 4年生、7日(木)に1, 2年生と、高学年、中学年、低学年ごとに3日間行われました。

5校時が始まる時間には、保護者は幼児を預けて水泳大会の応援か学級PTAに参加されていました。数回託児を経験した幼児や児童が多いので、慣れた様子で活動していました。ボランティアで参加してくださった方々も顔見知りになっているので名前などよく覚えてくださって接していました。幼児は、ブロックでの遊びや絵本よみ、折り紙などで過ごしました。1, 2年生の児童は、はじめに宿題を済ませ、その後、昆虫や恐竜の図鑑を見ていました、幼児は支援者と話をしたり、折り紙で遊んでいました。3日間に預かった幼児は2~5名で、ボランティアの方は3~4名での支援になりました。



折り紙の時間でした・・・



1, 2年生は宿題がんばってよ～

発表会での支援（視聴と講評）

生冠中学校では、学年ごとの課題発表会が7月9日(土)に1年生、13日(水)に2年生、14日(木)に3年生と3日間に分けて行われました。各学年自分の学級で発表になり、視聴者として学校運営協議会の委員2~3名に聞いてもらいました。

1年生の課題は「福祉」についてでした。学校で車いすでの移動や使い方、アイマスクをしての歩行を体験し、認知症の話等を聞いてからの発表なので、説得力があり、これからの生活で自分のできること、気を付けることなどを発表しました。

2年生、3年生は「SDGs」17の目標の中から、自分が関心のある「気候」、「ゴミ問題」、「平等・不平等」、「福祉」、「貧困問題」などの項目を選び、たくさんの情報を集め、パワーポイントにまとめ発表しました。3年生は2回目の課題発表会でしたが、見違えるようにパワーポイントの作り方、話し方が上達しました。短時間で大きく成長する中学3年生を見ることができました。



準備も自分たちの手で・・・



発表を聞き入る委員の方々

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会社会教育課
(Tel 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ
統括コーディネーター (串木野地域 濱田俊浩) (市来・生福地域 有元 操)